



↑川添町長に優勝・準優勝を報告

←ロボットを操作し、川添町長に説明する生徒ら

★ ロボットコンテストに初出場 鷹巣中学校が優勝・準優勝

第14回創造アイデアロボットコンテスト鹿児島県中学生大会（県中学校技術家庭科教育研究会主催）が、10月25日、鹿児島市で行われ、初出場した鷹巣中学校（大堂裕治校長）のロボットが優勝・準優勝し、九州大会への出場を決めました。

授業内部門に出場した「シリウス」と「アルキメデス」の2つのロボットは、同校の5人の生徒が夏休み後半から、平日の昼休みなどを利用して制作したもの。小牟礼翼教諭の指導を受けながら、部品一つ一つを組み立てて制作しました。

大会は、1分間に自陣のコート上にあるアイテムを、いかに多く相手コートに移すことができるかを競うルールで、白熱した展開となりました。

ロボットを製作した平元悠太君（2年）は「ロボットの製作や操作の練習に励み、結果を残すことができている。九州大会も頑張りたい」と喜びました。

★ 鷹巣駐在所が新しくなります

安心・安全な町に一步前進

鷹巣駐在所住宅・事務所新築工事および鷹巣旧庁舎跡地整備工事の安全祈願祭が、11月10日、ありました。

駐在所が建設されるのは、上揚集落にある旧東町役場跡地。式では川添健町長をはじめ、前山良民阿久根警察署長や、工事関係者ら約30人が神事を執り行い、工事の無事を祈願しました。

前山署長は「町の発展のため、尽力したい。地域の協力をたまわりながら、安心・安全な町づくりを進めたい」と話しました。



↑工事の無事を願い、予定地を清める宮司



↑入所者らを前に祝辞を述べる川添町長

★ 桃源郷で竣工式 地域に密着した施設を

本館の改修工事と一部増築工事を進めていた、社会福祉法人東長会特別養護老人ホーム桃源郷（中納武徳理事長）で、11月9日、工事竣工式がありました。

施設入所者や関係者らが出席した式では、川添健町長が「社会全体で介護サービスは充実しつつあるが、老老介護は増加傾向にある。基盤整備を行い、地域になじんだ施設になってほしい」と祝辞を述べました。

式の後、桃源郷祭りが同施設で行われ、地域住民らが一緒になって祭りを楽しみました。